

授業の様子(体育)

体育の授業では2学期後半よりボール運動やマット運動の学習をしています。清泉小学校では毎年11月頃に体育委員会主催のドッジボール大会が開かれており、秋から冬にかけてはボールに対する興味が一気に広がる時期です。授業では主にサッカーやバスケットボールを扱います。

裸足で過ごすことが少なくなった現代では、授業や遊びの中で足の裏の感覚を育てることも重要です。そこで、これまでのサッカーの授業では左右の足の裏で交互にボールをタッチすることや足の裏でボールを押し出すパス練習をしてきました。



また、教員が守っているゴールに入るまで繰り返しシュートをした後、トラックから落ちない(出ない)ように1周ドリブルをするという運動もしました。遊びの要素があると練習も楽しくなっていきます。



基本の動きを学習しつつ、今月からはゲーム式の練習を増やしていく予定です。

マットの授業では、学年毎に課題とする技があります。例えば、5年生での課題は伸膝後転(膝を揃えて伸ばしたまま後転する技)や倒立ブリッジ(倒立姿勢からブリッジ姿勢へと繋げる技)などになります。体育館には大小合わせて20枚以上のマットがあり、その日の練習に応じてマットを自由に組み合わせることが出来ます。



本来、子どもは運動が大好きでたまらないものです。しかし、その子どもの内面ではなく、何が出来たか出来なかったかという外面だけで評価してしまうことにより、徐々に運動嫌いな子どもや大人へと変えていってしまいます。このことは他の学習にも通じることですが、体育科の教員はこのことを常に念頭に置いて子どもと向き合い、子ども達の何にも縛られない自由な運動(遊び)を見守っています。

